

株式会社エクサウィザーズ
臨時株主総会 株主様からのご質問

臨時株主総会の開催にあたり、株主の皆様にお寄せいただきました質問につきまして、以下のとおり回答とともにその要旨を公開します。なお、ご質問の内容が、個人のプライバシーの侵害となる可能性がある場合や、今回の議事とは関係が薄い内容であった場合、更にご質問者以外の権利・利益を侵害するおそれがあると判断させていただいた場合等は、ご質問原文の修正、回答の差し控え等をさせていただくことがあります。

【ご来場の株主様より頂きましたご質問】

1	<p>AI プラットフォーム事業の営業利益率が前年比で低下しているが、同事業における投資や業務提携等の施策がどのように利益に結びついてくるのか展望をお伺いしたい</p> <p>また、AI プロダクト事業について、売上高は前年同期を上回ったが、営業利益は金額・利益率とも下回っており、伸び悩んでいるように見える。これについて状況を確認したい</p>
	<ul style="list-style-type: none">・ AI プラットフォーム事業・AI プロダクト事業とも業績は順調であり、営業利益についても計画通りに推移しています・ 生成 AI を活用したプロダクトに関し、AI プラットフォーム事業・AI プロダクト事業いずれの顧客からも問い合わせが増えており、生成 AI プロダクトの提供による売上を引き続き積み上げていきたいと考えています・ 当社は生成 AI を中心とした新規サービスの開発を進めています。新規事業への投資や業務提携等の施策の進捗状況及び成果については、今後の決算説明会においてご説明します
2	<p>他社の決算資料を見ると親会社株主に帰属する当期純利益まで業績予想を開示している会社を見受けますが、当社は何故そこまで開示していないのでしょうか</p>
	<ul style="list-style-type: none">・ 開示については一定の開示基準に基づいて行っており、その中で各社の考えや状況により何を開示するか決めているものです・ 当社の子会社群における各社の株主による株式保有比率が異なることやガバナンスの在り方が異なること等を鑑み、現状では業績予想において親会社株主に帰属する当期純利益までの各数値を開示する必要はないと考えています・ 今後も適時に開示要否を検討していきますが、足元では引き続き現状の内容で開示を行う予定です

本資料の取り扱いについて

- 本資料は、当社への理解を深めていただくために、情報提供のみを目的として当社が作成したものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。
- 本資料に含まれる業績予想等の将来に関する記述（当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報及び成長余力等が含まれますが、これらに限られません。）は、本資料の発表日現在における当社の判断及び利用可能な情報等に基づくものであり、将来の業績等を保証するものではなく、様々なリスクや不確実性を内包するものです。実際の業績等は、環境の変化などにより、予想と異なる可能性があることにご留意ください。
- 当社は、本資料の発表日以降、本資料に含まれる情報に変更または変動があった場合であっても、本資料の記述を更新または改訂し公表する義務を負うものではありません。
- 本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な社会構造の変化に関する情報等の当社以外に関する情報が含まれています。当社は、これらの情報の正確性、合理性及び適切性等について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてもこれらを保証するものではありません。